

事務事業名		情報通信技術活用教育推進事業			会計	一般会計					
H27担当課等名		学校教育課		H27係等名	学務係		H26係等名	学務係			
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり			施策	22	義務教育の充実		
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校					対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	情報通信技術活用指導用教材の視覚支援によるわかりやすい授業が提供できる。児童等の情報活用・発信、プレゼンテーションなど情報活用能力が高まる。						小中学校数	28		
	向上させたい上位施策の成果指標	基礎学力の水準						児童生徒数(5/1現在)	8919		
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	コンピュータ教室に一人一台が整った学校の割合			100	100	100	100			
	定性目標										
事業概要	<p>ICT(情報通信技術)による教科指導用教材が活用できるような環境を整備し、視覚支援によるわかりやすい授業が行えるようにすることで、学力・学習理解の向上を図る。また、ICT(情報通信技術)環境を整備し、情報機器・ソフトウェア等を整備することによりICT(情報通信技術)を活用した授業、学習を実施する(例:個人毎のドリル学習、確認学習の実施)とともに、児童等に情報活用能力を身に付けさせる。</p> <p>【参考:新学習指導要領】新たにスタートした新学習指導要領の重点課題として「情報教育及び教科指導でのICT(情報通信技術)活用の充実」を図ることが求められている。小学校:国語科における言語の学習、算数における数量や図形の学習など。中学校:技術分野のデジタル作品の設計・制作、プログラムによる計測・制御をすべての生徒に履修。国語科における資料・機器の活用や情報の比較などの学習処理・発表、数学科における表・グラフの整理や標本調査の学習などである。</p>										
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	<p>1 コンピュータ等の情報機器・ソフトウェアを整備することにより情報通信技術を活用した授業、学習を実施するための環境整備を行う。 整備実施校:上久堅小学校・千代小学校・千栄小学校・龍江小学校・川路小学校・三穂小学校・上村小学校 小学校計6校 飯田東中学校・飯田西中学校・鼎中学校・竜東中学校 中学校計4校</p> <p>2 情報通信技術を活用した教育のための機器を教職員用にリース購入する。</p> <p>3 子どもたちがネット犯罪・トラブル等に巻き込まれないよう、各中学校で中学生を対象にしたネットトラブル防止研修会を開催する。</p>				<p>1 児童用情報機器等整備する学校数</p> <p>2 教職員用情報機器等整備台数</p> <p>3 ネットトラブル防止研修会実施回数</p>				<p>1 10校</p> <p>2 265台</p> <p>3 10回</p>		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		49,806	64,454	64,451	67,721						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		49,806	64,454	64,451	67,721						
人件費計(千円)②		179		179							
正規職員所要時間		50		50							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		49,985	64,454	64,630	67,721						
事業内容・目標達成状況の振り返り	H26は小学校6校のコンピュータ教室のコンピュータの更新を行い、ICT環境の整備を行った。										
改革改善の考え方	①問題点	学習指導要領に沿ったICTを活用するための環境(情報機器、デジタル教材など)整備方針が定められていない。									
	②改革提案	ICTを活用するための環境(情報機器、デジタル教材)整備計画の策定									